

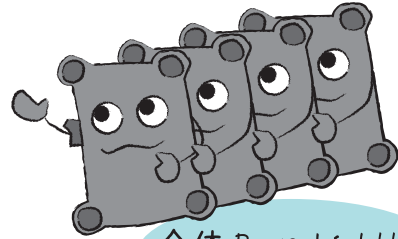
初めまして僕 IPL 特長を紹介するよ



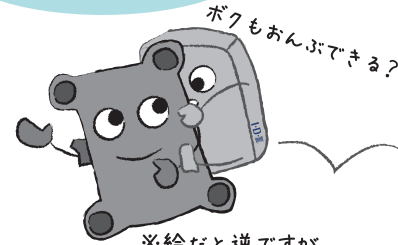
IPL-98 96Wh

IPL-150 143Wh

IPL シリーズ以外でも IDX バッテリーなら OK

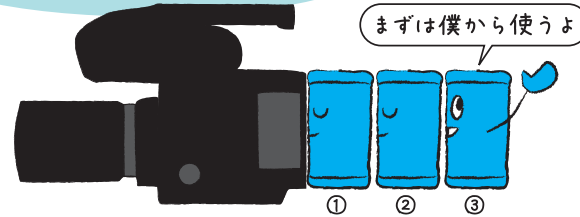


合体 PowerLink!!! 連結してパワー4倍

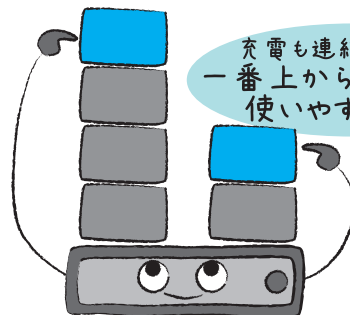


ボクもおんぶできる? ※絵だと逆ですが...IPL の後ろに連結できます

最後段から放電をはじめます (全部 IPL バッテリーの場合)

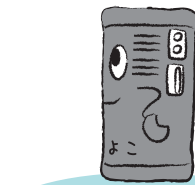


まずは僕から使うよ

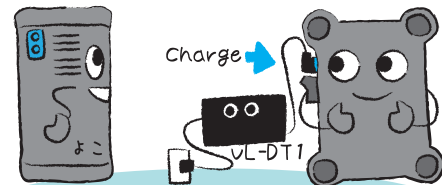


充電も連結してできる一番上から充電するの使いやすいでしょ

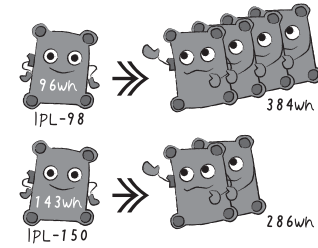
VL-2000S



D-Tap と USB 装備



充電もできる青い D-Tap Adv.

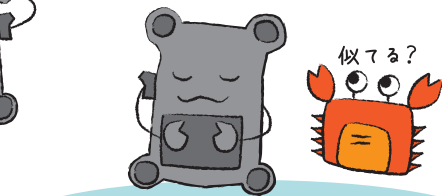


現場で連結すれば大容量バッテリーに早変わり

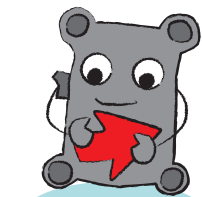
暗いところでカメラに付けるときに便利



やさしく光る LED つき



端子を守る防塵コネクタカバーつき



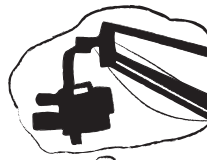
大電流 OK



バンパーがついてるから万が一落としても強いぞ

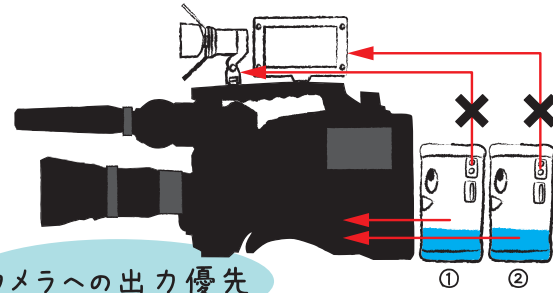


しっかりロック☆簡単には外れないよ



クレーンで吊られても安心

万が一、接続機器の負荷が増加した際には、アクセサリの出力を止めてカメラへの出力を優先できます (設定で機能の有無選択可)

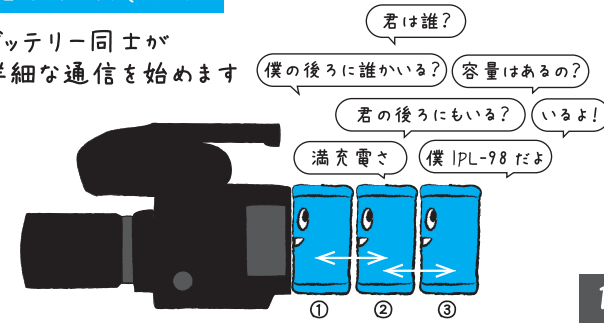


カメラへの出力優先

IPL バッテリーはお互いに通信しながら、「自主的に判断」して放電します

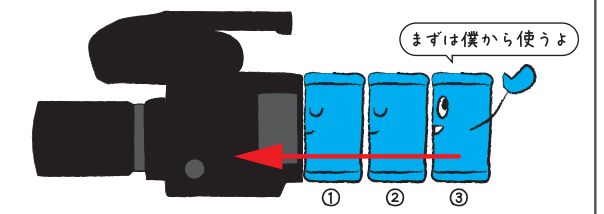
基本的な放電方法

バッテリー同士が詳細な通信を始めます



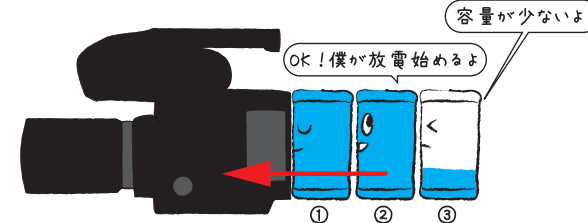
1

放電負荷が最後段の許容内であれば最後段から放電を始めます



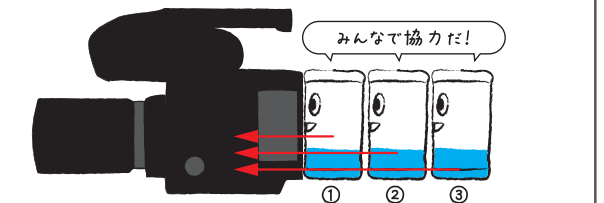
2

最後段の容量が少なくなると前段に切り替わります



3

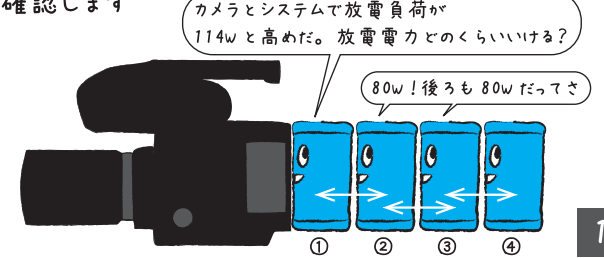
それぞれの容量が少なくなるとすべてのバッテリーから放電します



4

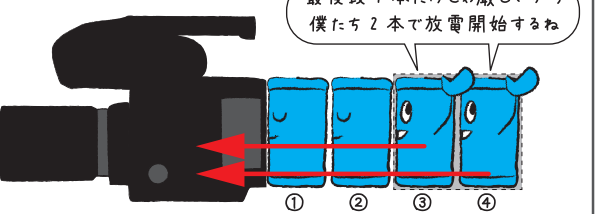
接続機器の消費電力が大きい場合

接続機器の消費電力・各バッテリーの許容放電電力を確認します



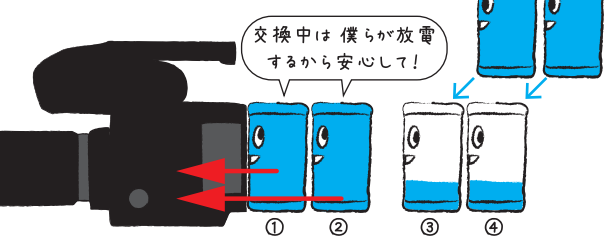
1

接続機器の負荷が大きい場合は最後段以外のバッテリーも合わせて放電を開始します



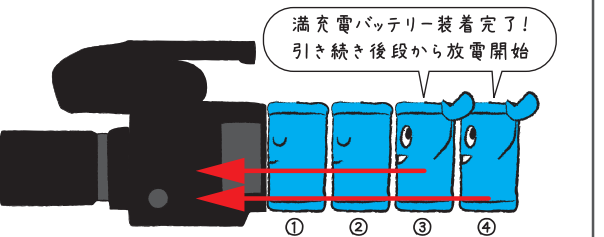
2

容量が減ったら後段を交換 前段に待機中のバッテリーがあればホットスワップ機能も併用できます



3

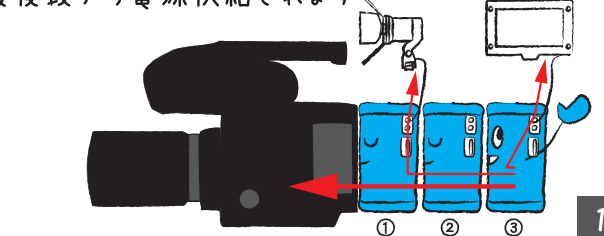
再び後段から放電を開始しますので、ノンストップで長時間撮影ができます



4

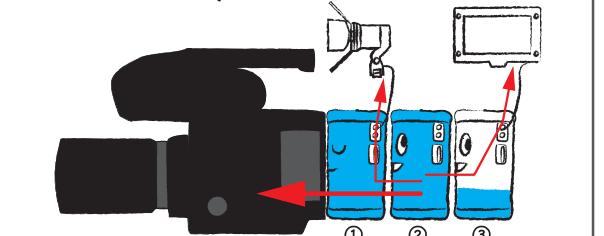
D-Tap、USBにアクセサリが接続されている場合

どのバッテリーに接続されていても最後段から電源供給されます



1

最後段の容量が少なくなり前段に切り替わると前段のバッテリーから電源供給されます



2

※アクセサリカットオフ機能有効時は、D-Tap 80W/USB 2.3A以下でも出力を停止する場合がありますのでご注意ください。